

令和5年度事業計画

- ・「故きを温ねて新しきを知る」と
 - ・「新しいみどりの空間の模索」に加え、
 - ・「魅力ある活動と運営をもって会の活性化を図り、財政の健全化を目指す」
- の3大テーマを持って活動を行う。

NPO 国際造園研究センターは「関西のみどりのプラットフォーム」としての役割を果たすべく、3つの大テーマを引き継ぎ見据えながら活動を探りたい。

(1) 研究調査について

- ア) 太政官布達150年の古来松林で著名な浜寺公園を現場として、松林の保全育成の方策を検討する。
- イ) 2025 大阪・関西万博に向けて緑の情報を収集し、その普及啓発を図る。
- ウ) 清水正之氏の業績及び資料を生かし、太政官布達150年対象公園（浜寺、住吉）のみではなく、公園・みどりの150年の歴史のアーカイブを継続して検討する。

(2) 研修会及び講習会について

- ア) 第9回庭園文化塾の開講。
- イ) 好評の「二木サロン」を今年度から各月第2水曜日に開催する「二水サロン」として継続開催し、加えて「関西みどり探訪」「庭園見学会」「公園アーカイブの研究整理」等を行う。
- ウ) 研修会・講習会については、12月、3月の開催を行うほか、例年通り6月の総会記念講演会を企画する。

(3) 緑化事業について

- ア) 都市緑化の推進に関わる団体との共同事業、研修、サロンの運営等を行う。
- イ) 「関西みどり探訪」の開催
公園やみどりの拠点として、その資質が結び付く周辺の地域を、地理的、歴史的な面を掘り下げながら探訪する「関西みどり探訪」を実施する。

(4) 国際事業について

- ア) 2025 大阪・関西万博に向けて海外での事業参加の情報を共有し、海外の庭園や公園事情の交換を行うと共に、まちづくりを通じての海外との文化交流を行う。また協力の要請がある場合、極力技術的支援を行う。
- イ) 国際的に関心の深い日本庭園に関する調査やシンポジウムなどの企画参加を行う。

(5) 広報活動について

- ア) 会誌の発行、ホームページの運営等を通じて、国際造園研究センターの知名度の向上を図る。
- イ) HP には会員からの声や、会員の取り組む事業を紹介するコーナーを設けることを検討する。

ウ) YouTube や Facebook を活用して広報活動を充実化する。

(6) 各種団体との協力

積極的に他団体との協力を進め、「都市公園制度 150 周年フォーラム」の開催に参加協力する。